

令和5年12月26日

大阪・関西万博を岸和田から盛り上げるイベントの開催 に向けたサウンディング型市場調査の結果について

1. 調査の目的

2025年に開催される大阪・関西万博（以下「万博」という。）では、約2,820万人の来場者数、約2兆円の経済波及効果が見込まれており、地元“大阪”で開催される万博において、本市の多様な魅力を国内外へ発信し、万博を契機とした本市の更なる成長やシビックプライドの醸成を図る取り組みを効果的・効率的に推進していく必要があります。

そこで、万博開催前の2024年には、本市の様々な魅力にふれながら、万博を岸和田から盛り上げられるイベントの開催を検討しており、その企画から運営までを実施する民間事業者等を公募するにあたり、公募条件等について、自由かつ実現可能な意見や提案、アイデアを把握していくことを目的として、サウンディング型市場調査を令和5年10月27日から同年12月15日まで実施しました。

2. スケジュール

内容	日程
実施要領の公表	令和5年10月27日（金）
サウンディングの申込み	令和5年11月10日（金）まで
提案書の提出（任意）	令和5年11月27日（月）まで
サウンディングの実施	令和5年12月1日（金）から 令和5年12月15日（金）まで

3. 参加者

1社

主な意見

対話項目	主な意見概要
1. 事業テーマ 調査実施の方向性に基づく事業全体のテーマや実現に資する基本的な考え方 等	
事業テーマ	<ul style="list-style-type: none">「海の万博」というキーワードが大きなテーマになると考えるその上で、イベントの具体的なテーマやコンセプトについては、提案者の提案によるところと考える。具体的なテーマ・コンセプトを指定することは提案の幅を狭めかねない。
全体イメージ	<ul style="list-style-type: none">一般的なイベントの全体イメージとしては、「食」・「体験」・「観る」の要素があるものが考えられる。
万博との接続	<ul style="list-style-type: none">万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」や、サブテーマの「Saving Lives (いのちの救う)」・「Empowering Lives (いのちに力を与える)」・「Connecting Lives (いのちをつなぐ)」は、総花的かつ抽象的な印象を受ける。イベントの具体的なテーマとどのように接続させていくかも含めて、提案を受け付けるのがよいと考える。
2. 事業の主となるコンテンツ 調査の方向性に基づく事業の実現に向けて、万博や岸和田らしいイベントとなるような事業の中核的なコンテンツについてのアイディア 等	
メインコンテンツ	<ul style="list-style-type: none">岸和田港まつり花火大会が、安全性の確保が困難等の理由により中止されていることも踏まえ、花火に代わる別の演出をメインコンテンツとすることで集客が見込めるのではと考えるドローンショーや光を使った演出は費用が高い。実施する規模にもよるが提示されている想定予算のほとんどを充てなければならない可能性がある。光の演出等の場合、1日だけの開催ではもったいないと考える。イベント自体は1日だが、メインコンテンツは数日鑑賞可能などとする方が集客性があるうえ、必要機材の費用についても1日と複数日で、そこまで大きく変わらないのではと考える。
万博関連コンテンツ	<ul style="list-style-type: none">今後、「空飛ぶクルマ」等についても、どこまで実用に向けて進むか分からないが、進捗によっては先行的に体験できるといったコンテンツは考えられる。市として、イベントと万博との接続の視点から、実施や導入が必須と思われる具体的なコンテンツ・ソリューション・サービス等があれば、公募要件に条件として入れておくべきと考える。
その他のコンテンツ	<ul style="list-style-type: none">海をキーワードに「食」であれば、岸和田市の海産物等のグルメブースや、海洋環境保全の視点からは、海ゴミを活用したアートの展示などが考えられる。

対話項目	主な意見概要
<p>3. 事業スキーム</p> <p>事業の実施・運営における民間事業等がもつノウハウや効率的な実施手法、本市の財源以外の資金繰り手法や効果的な広報プロモーションのアイデア、事業期間 等</p>	
<p>市財源以外の資金</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般的に考えられるのはクラウドファンディングや協賛を募ることである。 ・ イベントへの出展にあたり出展料をいただく。